

The Japanese Journal of PHYCOLOGY

CONTENTS

Masafumi Iima and Masakazu Tatewaki: On the life history and host-specificity of <i>Blastophysa rhizopus</i> (Codiales, Chaetosiphonaceae), an endophytic green alga from Muroran in laboratory cultures	241
Ikuko Shihira-Ishikawa: Cytoskeleton in cell morphogenesis of the coenocytic green alga <i>Valonia ventricosa</i> . I. Two microtubule systems and their roles in positioning of chloroplasts and nuclei.....	251
Shigeru Kumano and Siew Moi Phang: Studies on freshwater red algae of Malaysia VII. <i>Batrachospermum tapirensis</i> sp. nov. from Sungei Tapir, Johor, Peninsular Malaysia	259
Ryozo Seto: Study of a freshwater red alga, <i>Compsopogonopsis fruticosa</i> (JAO) SETO comb. nov. (Compsopogonales, Rhodophyta) from China	265
Hiromu Kobayashi and Hideaki Kobayashi: Fine structure and taxonomy of the small and tiny <i>Stephanodiscus</i> (Bacillariophyceae) species in Japan. 5. <i>S. delicatula</i> and the characters useful in identifying five small species	268
Shinji Handa and Taketo Nakano: Analysis of the epilithic diatom communities by principal component analysis method (The Numata-gawa River, Hiroshima Prefecture)	(in Japanese) ... 279
◆ ◆	
Note	
Hirotoshi Yamamoto and Jun Sasaki: On the pseudocystocarp of <i>Gracilaria verrucosa</i> (HUDS.) PAPENF. (Gracilariaceae)	277
Shigeru Sasaki, Kazuo Kikuchi and Keiji Matsuyama: <i>Cutleria cylindrica</i> ; a new record from Hokkaido	(in Japanese) ... 289
Makoto Yoshizaki: On a personal computer game "What is this algal name?"	(in Japanese) ... 291
◆ ◆	
Announcement	293
Contents of Volume 35	i-iv

日 本 藻 類 学 会

日本藻類学会は昭和27年に設立され、藻学に関心をもち、本会の趣旨に賛同する個人及び団体の会員からなる。本会は定期刊行物「藻類」を年4回刊行し、会員に無料で頒布する。普通会員は本年度の年会費7,000円(学生は5,000円)を前納するものとする。団体会員の会費は12,000円、賛助会員の会費は1口20,000円とする。

入会、退会、会費の納入および住所変更等についての通信は 113 東京都文京区弥生2-4-16「学会センタービル内」日本学会事務センター宛に、原稿の送付は 657 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学理学部生物学教室内、日本藻類学会編集委員会宛に、また、庶務一般およびバックナンバー等については、606 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学部熱帯農学専攻内、日本藻類学会宛にされたい。

The Japanese Society of Phycology

The Japanese Society of Phycology, founded in 1952, is open to all who are interested in any aspect of phycology. Either individuals or organizations may become members of the Society. The Japanese Journal of Phycology (SÖRUI) is published quarterly and distributed to members free of charge. The annual dues (1987) for overseas members are 8,500 Yen (send the remittance to the **Business Center for Academic Societies Japan, 4-16, Yayoi 2-chome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113 Japan**).

Manuscript for publication should be submitted directly to the Editor-in-chief, **Prof. Y. Tsubo, Department of Biology, College of Liberal Arts, Kobe University, Tsurukabuto 1-2-1, Nada-ku, Kobe, 657 Japan**. Inquiries and other information regarding the society should be addressed to the **Japanese Society of Phycology, c/o Division of Tropical Agriculture, Faculty of Agriculture, Kyoto University, Kitashirakawa-oiwakecho, Sakyo-ku, Kyoto, 606 Japan**.

昭和62, 63年度役員

会 長: 梅崎 勇 (京都大学)
庶務幹事: 市村 輝宜 (東京大学)
 中原 紘之 (京都大学)
会計幹事: 鯉坂 哲朗 (京都大学)
評 議 員:

秋山 優 (島根大学)
千原 光雄 (筑波大学)
榎本 幸人 (神戸大学)
原 慶明 (筑波大学)
石川依久子 (大阪大学)
巖佐 耕三 (四天王寺国際佛教大学)
喜田和四郎 (三重大学)
小林 弘 (東京学芸大学)
右田 清治 (長崎大学)
三浦 昭雄 (東京水産大学)
大野 正夫 (高知大学)
奥田 武男 (九州大学)
三本善善昭 (北海道区水研)
谷口 和也 (東北海区水研)
籾 熙 (北海道大学)
山岸 高旺 (日本大学)
横浜 康継 (筑波大学)

編集委員会:

委員長: 坪 由宏 (神戸大学)
幹 事: 熊野 茂 (神戸大学)
実行委員: 榎本 幸人 (神戸大学)
 石川依久子 (大阪大学)
 高橋 永治 (神戸大学)
委 員: 秋山 優 (島根大学)
 有賀 祐勝 (東京水産大学)
 堀 輝三 (筑波大学)
 岩崎 英雄 (三重大学)
 加藤 哲也 (京都大学)
 小林 弘 (東京学芸大学)
 奥田 武男 (九州大学)
 舘脇 正和 (北海道大学)
 吉田 忠生 (北海道大学)

Officers for 1987-1988

President: Isamu UMEZAKI (Kyoto University)
Secretary: Terunobu ICHIMURA (University of Tokyo)
 Hiroyuki NAKAHARA (Kyoto University)
Treasurer: Tetsuro AJISAKA (Kyoto University)

Members of Executive Council:

Masaru AKIYAMA (Shimane University)
Mitsuo CHIHARA (University of Tsukuba)
Sachito ENOMOTO (Kobe University)
Yoshiaki HARA (University of Tsukuba)
Ikuko SHIHARA ISHIKAWA (Osaka University)
Kozo IWASA (International Buddhist University)
Washiro KIDA (Mie University)
Hiromu KOBAYASI (Tokyo Gakugei University)
Seiji MIGITA (Nagasaki University)
Akio MURA (Tokyo University of Fisheries)
Masao OHNO (Kochi University)
Takeo OKUDA (Kyushu University)
Yoshiaki SAMBONSUGA (Hokkaido Reg. Fish. Res. Laboratory)
Kazuya TANGUCHI (Tohoku Reg. Fish. Res. Laboratory)
Hiroshi YABU (Hokkaido University)
Takaaki YAMAGISHI (Nihon University)
Yasutsugu YOKOHAMA (University of Tsukuba)

Editorial Board:

Yoshihiro Tsubo (Kobe University), Editor-in-chief
Shigeru Kumano (Kobe University), Secretary
Sachito Enomoto (Kobe University), Associate editor
Ikuko Shihara Ishikawa (Osaka University), Associate editor
Eiji Takahashi (Kobe University), Associate editor
Masaru Akiyama (Shimane University)
Yusho Aruga (Tokyo University of Fisheries)
Terumitsu Horii (University of Tsukuba)
Hideo Iwasaki (Mie University)
Tetsuya Kato (Kyoto University)
Hiromu Kobayasi (Tokyo Gakugei University)
Takeo Okuda (Kyushu University)
Masakazu Tatewaki (Hokkaido University)
Tadao Yoshida (Hokkaido University)

日本藻類学会第12回大会のお知らせ

昭和63年度日本藻類学会第12回大会を下記の要領で開催します。藻類に関係のあるあらゆる分野の研究についての発表を広く歓迎します。所属機関長への出張要請等の文書などご入用の方は宛先を明記して大会準備委員会までご連絡なくお申込み下さい。

大会終了後には日本藻類学会主催で英虞湾における海藻採集会を企画しています（裏面参照）。奮ってご参加下さい。

- (1) 期 日：昭和63年3月30日（水）～3月31日（木）
- (2) 会 場：三重大学生物資源学部水産学校舎
津市江戸橋2丁目80 TEL. 0592-32-1211（大学代表）

津駅東口の三交バス4番乗り場発バスで、新江戸橋または大学病院前停留所で下車（徒歩約7分）。ただし、倉紡前行きのバスの場合は倉紡前終点下車（徒歩約2分）。

(3) 研究発表：発表形式は口頭発表と展示発表とします。口頭発表は1演題につき討論を含めて15分を予定しています。展示発表は原則として大会期間中とし、演者はポスターの前で決められた時間に説明と質疑応答を行なうこととなります。

(4) 参加申込み：講演の有無に関わらず、大会に参加を希望される方は、同封の振替用紙にてお申込み下さい。参加費は2,500円です。ただし学生は2,000円とします。懇親会（3月30日夜開催）に出席ご希望の方はさらに会費2,500円を添えてお送り下さい。

(5) 講演申込み：講演ご希望の方は、氏名（共同の場合は講演者の左肩に◎印）所属、題名、要旨、（A4 400字詰横書き原稿用紙使用、題名共に600字以内）を添えて大会準備委員会までお申込み下さい。

本大会では発表形式が2通りになっています。ご希望の発表形式を、「口頭」あるいは「展示」と、用紙1枚目の原稿用紙の右上欄外に朱記して下さい。記入のない場合は大会本部で振り分けさせていただきます。

(6) 発表形式 口頭発表の場合：図・表はすべて35mmのスライドに限ります。スライド枠には、右図のように講演者氏名、講演番号（大会プログラムに記されているもの）、スライド総枚数、映写順序、上辺マークを記入して下さい。同一の図、表を繰り返し映写する場合は、それに見合う枚数をご用意下さい。

展示発表の場合：大会本部では1演題につき幅 180

cm、高さ 90 cm（市販の模造紙2枚分の大きさ）の展示板を用意します。その他の展示用具は各自で準備して下さい。ポスターの貼付にはセロハンテープを使用して下さい（画鋸は使用できません）。デザインや展示方法は自由ですが、上記の大きさに合わせたポスターを前もって作成し、ご持参下さい。なおポスター作成に当たっては以下の点にご留意下さい。i) 表題は5 cm 以上の大きさの文字を使用する、ii) 説明文は高さ1 cm 以上の文字を使用し、文章は必要最小限にとどめ、iii) 演者の氏名、所属を明記し、演者の顔写真（キャビネ版大）を貼付するのが望ましい。ポスターの貼付は30日午前8時30分から10時までに済ませるようして下さい。

(7) 宿泊案内：会場への交通が便利な宿泊施設を紹介いたします。共済関係の施設は収容入員が少ないのでお早目に各自でお申込み下さい。

* 同津会館（公立学校共済）新町1丁目6-28（近鉄津新町駅徒歩2分）TEL. 0592-27-3291 和洋11室25名 シングル ¥3,200 から

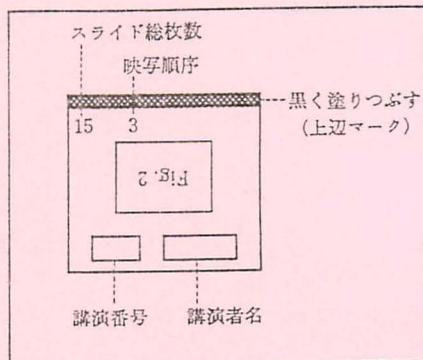
* 吉田山会館（地方職員共済）栄町1丁目179（津駅西口徒歩10分、県庁前）TEL. 0592-26-6663 和10室27名、シングル ¥3,200 から

* あさあけ会館（警察共済）栄町4丁目277（津駅東口徒歩7分）TEL. 0592-27-2012 7室20名、シングル ¥3,300 から

* 三重県教育文化会館（ホテルいせわん）桜橋2丁目142（津駅東口徒歩5分）TEL. 0592-28-1122 洋18室32名、シングル ¥4,000 から

* 津グリーンホテル 栄町3-47（津駅東口徒歩1分）TEL. 0592-25-7601 洋75室105名、シングル ¥4,300 から

* 津ターミナルホテル 大谷町148-1（津駅西口徒



歩1分) TEL. 0592-25-6100 洋56室66名, シングル ¥4,800 から

* 丸二ホテル津 広明町345-4 (津駅西口徒歩3分) TEL. 0592-27-8333 洋105室112名, シングル ¥5,000 から

* ホテルサンルート津 栄町3-232 (津駅東口徒歩1分) TEL. 0592-24-1311 洋59室70名, シングル ¥5,500 から

(8) 大会参加申込み・講演要旨締切: 昭和63年1月10日

(9) 申込み先・要旨送り先: 〒514 津市江戸橋2丁目80 三重大学生物資源学部水産学校舎海藻増殖学研究室 日本藻類学会第12回大会準備委員会。TEL. 0592-32-1211 (内線2531, 2532) 郵便振替口座「名古屋」5-43454

—日本藻類学会主催海藻採集会のお知らせ—

下記の要領により英虞湾周辺での海藻採集会を開催いたします。ご希望の方はお申込み下さい。

(1) 期 日: 昭和63年3月31日(木)午後4時30分(第12回大会終了後)~4月2日(土)正午

(2) 日程と内容(予定): 3月31日(木), 大会終了後, 会場前から大学専用バスにて志摩町和具まで移動後付属水産実験所に宿泊。4月1日(金), 9時~13時, 英虞湾口(浜島)での磯採集, 14~18時, 室内観察・分類同定。4月2日(土), 9時~12時, 室内観察の続き 昼食後解散。

(3) 会 場: 三重大学生物資源学部付属水産実験所 三重県志摩郡志摩町和具, TEL. 05998-5-4604

(4) 参加費: 宿泊費(2泊1,000円), 食費(3月31日夕食~4月2日昼食, 実費), およびその他(採集

交通費, 資料作製費, 消耗品費など)で約5,500円かかる見込です。納入期日など詳しくは後日参加者にお知らせいたします。

(5) 定員・参加資格など: 定員は宿泊施設の都合から25名とします。参加者の資格などは全く問いませんが, 申込み者が多数の場合には先着順としますのであらかじめご了承下さい。

(6) 申込み: ハガキにて下記に参加申込みして下さい。

〒514 三重県津市江戸橋2-80 三重大学生物資源学部水産学校舎 藻類増殖学研究室 前川行幸 TEL. 0592-32-1211 (内線2532)

(7) 申込み締切: 申込みは昭和63年3月10日までとします。